取締役一覧

2024年7月8日　撮影

取締役 (常勤監査等委員)	社外取締役 (監査等委員)	社外取締役 (監査等委員)	社外取締役 (監査等委員)	取締役会長	代表取締役社長	社外取締役	代表取締役	取締役
内田 瑞宏 (うちだ みずひろ)	的場 美友紀 (まとば みゆき)	山本 明夫 (やまもと あきお)	木下 俊男 (きのした としお)	山本 学 (やまもと まなぶ)	今井 俊夫 (いまい としお)	中田 るみ子 (なかた こ)	高橋 和男 (たかはし かずお)	石田 郁雄 (いしだ いくお)

・取締役の経歴　https://denka.disclosure.site/ja/themes/673

取締役選任に関する考え方

当社は、2022年に策定したデンカのビジョンのもと、2030年度までの８カ年の経営計画「Mission 2030」の実現のため、取締役と執行役員による経営体制を強化するとともに、ガバナンス体制と監督機能の充実を図っております。取締役の選任にあたって、社内取締役は、当社の各部門における豊富な経験と実績を有するとともに、取締役としての見識と十分な専門知識を有している者から、社外取締役は、当社の持続的な成長と企業価値向上に必要な専門性と豊富なビジネス経験や他社での経営経験に基づく幅広い見識を持った者から選任することとし、取締役会全体として、多様な知識・経験・能力を持った人財をバランス良く選任し、ジェンダーや国際性、職歴等、多様性を持つ構成とすることが重要であると考えております。また、独立社外取締役の比率は少なくとも３分の１以上が適切であると考えており、現状の比率は約44％です。

取締役会のスキル・マトリックス

			属性			スキル												
			独立社外	在任年数	ジェンダー	企業経営・経営企画	人財価値創造	グローバルビジネス	財務戦略・会計	法務・コンプライアンス	ESG・サステナビリティ E（環境）	ESG・サステナビリティ S（社会）	ESG・サステナビリティ G（ガバナンス）	事業価値創造・マーケティング	R&D・知財	技術・製造	DX
取締役会長	山本　学			11	M	○	○	○				○	○	○			
代表取締役社長	今井　俊夫	社長執行役員		5	M	○	○	○			○		○	○			
代表取締役	高橋　和男	専務執行役員		3	M	○	○	○		○					○	○	○
取締役	石田　郁雄	常務執行役員		1	M	○	○	○		○				○			
取締役	中田るみ子		○	―	F		○					○					
取締役	内田　瑞宏	常勤監査等委員		1	M				○	○		○	○				○
取締役	木下　俊男	監査等委員	○	9	M			○	○				○				
取締役	山本　明夫	監査等委員	○	9	M	○	○	○						○			
取締役	的場美友紀	監査等委員	○	3	F					○		○	○		○		

※保有する知見・経験の中で、取締役会で特に期待する内容を記載しています。　※在任年数は2024年6月20日時点。　※F：Female：女性、M：Male：男性。

（ご参考：取締役を兼務しない常務執行役員のスキル・マトリックス）

徳本　和家	常務執行役員			M	○		○			○	○			○	○	
林田りみる	常務執行役員			M	○			○				○				
笹川　幸男	常務執行役員			M						○	○			○	○	○
戸谷　英樹	常務執行役員			M						○	○			○		

取締役会に必要なスキルとその選定理由

2022年に策定したデンカのビジョンのもと、2030年度までの8カ年の経営計画「Mission 2030」の実現や経営重要課題（マテリアリティ）を通じたESG経営の推進等に向け、当社の取締役会が重要な意思決定や監督をおこなうために必要と考えるスキルは下記のとおりです。

企業経営・経営企画
デンカのビジョンの実現に向けた、経営計画の策定・レビューと、その計画達成に向けた業務執行状況の監督には、豊富なマネジメント経験・経営実績を持つ取締役が必要。

人財価値創造
社員一人ひとりが自己実現と成長を実感できる企業を目指し、人財投資と制度改革を実現するためには、人財価値創造に関する豊富な知識・経験を持つ取締役が必要。

グローバルビジネス
世界のメガトレンドを意識し、ビジョンにおけるパーパスである「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる。」ためには、豊富なグローバルビジネス経験を持つ取締役が必要。

財務戦略・会計
正確な財務情報の開示はもとより、事業の選択と集中を進めるとともに、最適資本構成を追求し、収益性と効率性を向上させるには、財務戦略・会計分野における確かな知識・経験を持つ取締役が必要。

法務・コンプライアンス
国内外で複雑化する法制度・各種規制に適切に対応し、公正かつ信頼される企業活動を行うためには、法務やコンプライアンス分野で確かな知識・経験を持つ取締役が必要。

ESG・サステナビリティ/E（環境）
事業を継続するための大前提である、「カーボンニュートラルの実現」、「サステナブルな都市と暮らしの充実」、「環境の保全・環境負荷の最小化」に取り組み、企業としての社会的責任を果たすためには、E（環境）に関する豊富な知識・経験を持つ取締役が必要。

ESG・サステナビリティ/S（社会）
安全で品質の高い製品を提供するとともに、人権の尊重やより良い地域社会形成への参画等を通じて、企業としての社会的責任を果たすためには、S（社会）に関する確かな知識・経験を持つ取締役が必要。

ESG・サステナビリティ/G（ガバナンス）
高い倫理観に基づく透明性・公正性を確保したより高度で実効性のあるコーポレートガバナンス体制を構築し、企業としての社会的責任を果たすためには、G（ガバナンス）に関する確かな知識・経験を持つ取締役が必要。

事業価値創造・マーケティング
ICT ＆ Energy、Healthcare、Sustainable Livingの3つの注力分野において、スペシャリティ、メガトレンド、サステナビリティの3要素をそなえた「3つ星事業」を100%にし、「3つ星事業」への転換が困難な事業の売却・撤退を含め、ポートフォリオ変革を進めるためには、幅広い視野をもとにした深い市場洞察力や豊富な事業経験を持つ取締役が必要。

R&D・知財
ICT ＆ Energy、Healthcare、Sustainable Livingの3つの注力分野で、事業価値を創造するためには、イノベーション推進の実績に加え、科学技術分野への造詣が深く保有の技術や知的財産に精通した経験が豊かな取締役が必要。

技術・製造
経営価値創造におけるプロセス革新による生産性向上や、信頼される製品づくり、安全な職場環境づくりを推進するためには、技術を熟知し、製造現場での豊富な経験と確かな知見を持つ取締役が必要。

DX
プロセス革新によるビジネスモデル・組織変革をすすめるためには、デジタル技術やデータ活用に関する深い知識と豊富な経験を持つとともに、当社の事業・業務内容を理解・分析し自ら変革につなげる能力を有する取締役が必要。